

日経産業新聞(2009/08/14)に一杉太郎准教授のリチウムイオン電池に関する研究成果が掲載

リチウムイオン電池は、今や自動車、携帯電話、ノートパソコン等に広く用いられており、我々の生活の質を支える基幹部材となっています。そして、その重要性はますます高くなっていくことは確実です。

本研究では、リチウムイオン電池の動作原理の理解目指し、正極材料である LiCoO_2 のエピタキシャル薄膜作製技術を開発しました。これにより、粒界や結晶粒内における Li イオンの振る舞いを明らかにすることで、高密度エネルギー貯蔵が可能な Li イオン電池の実現に向けた第一歩となります。

詳しくは[こちら](#)をご覧ください。